

生徒の願い・考えから考える『やまとの日』 <たたき台>

○「やまとの日」の2つのねらい

- ・大和中の教育目標の具現

「やまとの日」企画、当日の運営、次年度への改善等に参加する中で、自ら考えたり、周りの人のことを考えたり協力したりすることを学ぶ

- ・地域づくり

地域の方々と生徒（中学校）が一緒に考え活動することで、生徒の地域の一員としての自覚や地域への愛着を高めるとともに、地域を巻き込み地域で子どもを育てるという地域の意識や地域の一体感を高める。（地域づくりにとっての意義）

	大和中の「やまとの日」（現行）	大和地域の「やまとの日」
運営主体	○大和中職員 ・大和中生徒	○大和中学校運営協議会・大和中生徒会 ○各地域公民館・自治会
協力	・各自治会、公民館	・大和地域協議会
実施日 実施形態	・授業日（平日）の授業として実施	・休日に地域行事として実施 ・（幼小）中は授業日として（振替休日を取る）授業として、それに参加 （この日は、大和地域全域の各コミュニティの幅広い年齢の多くの方が共に汗し、交流を深める）
参加者	・大和中生徒、職員 ・地域の協力者（自治会役員、中学生の家族、地域の高齢者等） ※平日午後のため限定的	○地域のあらゆる世代住民に呼びかけ ・自治会役員、公民館役員、民生児童委員、大和小・中職員、青少年育成大和会議等々、大和地域の関係団体のメンバーにも呼びかけ ※休日開催にすることで可能
活動単位	・ここ3年は、主に各自治会単位	・各地域公民館ごとで活動単位を決める
具体的な活動内容の計画	・大和中職員が、各自治会長さん等に連絡を取り、内容を相談したうえで、生徒にも考えさせる。 ・内容は主に、清掃活動、交流活動（かるた、ゲーム、お話）	・各地域公民館・自治会単位等で、自治会・公民館主事の大人と、その地域の代表中学生で企画段階から、各地区で集まり、意見を出し合い計画 ※活動内容は、地域に役立つ活動（共に汗を流す）+地域の交流活動（遊びやスポーツ、伝承、〇〇大会等） <令和3年度の例> ・掃除+地域の災害を語り継ぐ（福田） ・掃除+地域の歴史、史跡を伝える（上剣）
当日の運営主体	・大和中（生徒・職員）	・各地域公民館、自治会 ・各地域の代表生徒